



エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

平成23年10月31日
ユニ株式会社

5月18日付環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

単位: kw

対象	昨年同期 合算最大値	基準値 使用制限値 (85.0%)	計画 合算最大値	合算最大値実績					昨年同期 対比削減率
				7月	8月	9月	期間		
				合算最大値 7月12日 11時~12時	合算最大値 8月18日 11時~12時	合算最大値 8月26日 11時~12時	合算最大値 8月18日 11時~12時	合算最大値 8月18日 11時~12時	
東京電力管内共同使用制限スキーム対象店舗	49,392	42,360	39,820	34,596	35,884	33,351	35,884	27.3%	
		15.0%	20.1%	30.6%	28.0%	33.1%	28.0%		
東北電力管内共同使用制限スキーム対象店舗	9,350	7,948	7,080	6,670	6,830	6,480	6,830	27.0%	
		15.0%	24.3%	28.7%	27.0%	30.7%	27.0%		
東京電力管内500kW未満の事業所	3,306	2,810	2,389	2,045	1,995	2,112	2,170	34.4%	
		15.0%	15.0%	38.1%	39.6%	36.1%	34.4%		
総合計	62,491	53,118	49,289	43,311	44,709	41,943	44,884		
		15.0%	21.1%	30.7%	28.5%	32.9%	28.2%		

2010年度7月~9月の合成後最大電力62,491kwのところ、本年7月~9月の合成後最大電力44,884kwの結果となり、28.2%の削減により目標を達成いたしました。

2. 個別の取組について

- (1) ●効果が大きかった取組
 - 照明設備関連
 - ・基本照明の30%程度を消灯
 - 空調設備関連
 - ・お客様の御協力を促し室内28℃の徹底
 - (2) ●比較的实施が容易であった取組
 - 照明設備関連
 - ・間接照明の一部を消灯
 - 冷凍、冷蔵設備関連
 - ・冷凍、冷蔵ケースの適正温度管理
 - ・冷凍、冷蔵ケースの照明一部消灯
- 今冬、来夏に向けて、
- (3) ●今後も実施可能な取組
 - 照明設備関連
 - ・基本照明の30%程度を消灯
 - ・間接照明の一部を消灯
 - 空調設備関連
 - ・外気導入設備のこまめな開閉操作による室温調整
 - 冷凍、冷蔵設備関連
 - ・冷凍、冷蔵ケースの適正温度管理
 - ・冷凍、冷蔵ケースの照明一部消灯
 - その他設備
 - ・事務所機器の待機電力削減
 - お客様へ節電を促す為にポスターや館内放送などの啓蒙活動の実施
 - 実施に苦労したが、もし今年と同レベルの取組が求められる場合実施可能な取組
 - 自家発電機の再稼働
 - ・休止中の自家発電機を稼働させ、目標値に不足する電力を削減
 - その他設備
 - ・エレベーター、エスカレーターの一部停止→お客様のコンセンサスが必要
 - 照明設備関連
 - ・屋外広告塔、壁面看板の消灯→入居テナント様のコンセンサスが必要
 - 今後の実施は困難な取組
 - なし
 - 実施はしたが電力量は増加した取組
 - なし
 - 約束はしていないものの実施した取組
 - 自動販売機の消灯と冷蔵停止時間の設定



2011年 夏の節電についてのエコ・ファーストの約束フォローアップ

2011年 10月 26日

キリンビール株式会社

5月18日付で環境大臣に約束した2011年 夏の節電についてのエコ・ファーストの約束の達成状況は以下のとおりです。

1. 約束達成状況

東北電力ならびに東京電力管内とも約束の数値を大幅に達成しました。

	前年最大電力	約束数値	月間最大電力(1時間値)		
			日時	最大電力	削減率
東北電力管内	4,110kW	3,494kW (▲15%)	7月22日 13時	1,030kW	▲74.9%
			8月24日 12時	2,050kW	▲50.1%
			9月1日 10時	1,500kW	▲63.5%
東京電力管内	12,332kW	10,482kW (▲15%)	7月20日 12時	7,752kW	▲37.1%
			8月16日 10時	7,704kW	▲37.5%
			9月2日 11時	6,600kW	▲46.5%

2. 個別取組状況

(1) 横浜工場での自家発電フル稼働(最大16,500kW)とユーティリティ設備の稼働分散(最大840kW)

東京電力への売電	7月	8月	9月	合計
		5,647MWh	5,645MWh	3,695MWh

(2) 取手工場でのNaS電池の夜間充電・昼間使用(最大3,600kW)と自家発電最大活用(最大940kW)
なお、仙台工場は特高電源の通電が遅れたため、製造休止

(3) 本社での節電取組を実施し、28.6%削減。

- ① オフィス空調温度を29℃設定
- ② 通路・オフィス窓際スペース消灯、執務スペースの昼休み全面消灯
- ③ 執務スペースの照明の間引き
- ④ エレベーターの間引き運転(3台 ⇒ 2台)
- ⑤ 自動販売機の間引き運転(13台 ⇒ 6台)
- ⑥ サマータイム制導入、ノー残業デー設定と空調18時、17時運転停止

(4) 5月2日からのクールビズに加え、7月1日～9月30日の期間でスーパークールビズ実施

(5) ライトダウンキャンペーン「昼も夜もライトダウン2011」に継続して参加

(6) 環境省提供「CO2みえ～るツール」の社内イントラネットでの全社員への案内

おいしさを笑顔に
KIRIN



エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ



平成23年10月26日
ライオン株式会社

ライオングループでは、今夏（2011年7月～9月）の最大電力を昨年同時期の最大電力に対し28%以上削減することができました。

1. 各事業所での施策

- i) 東京電力管内の当社グループ事業所において輪番操業を実施。グループとしてのピーク電力の削減に取り組んだ結果、最高でも昨年同時期の最大電力11,582kWの72%（2011年8月5日15～16時）に抑えることができました。（政令で求められた15%を上回る28%以上の削減）。
- ii) 当社グループの主力工場である千葉工場では、一部設備の昼間の運転を休止し電力使用を抑制するとともに、LNG燃料のコージェネレーションシステム（発電・熱利用システム）を稼働させ、最大購入電力を対昨年ピーク比72%（28%の削減、2011年7月20日13～14時）に抑えることができました。
- iii) 全国の各事業所において、照明の間引き、空調設定温度28℃の徹底と空調運転時間の短縮、空調機内部の清掃、自動販売機・給茶機・冷蔵庫等の使用自粛などの節電対策を実施しました。
- iv) クールビズを5月1日より実施、社員の服装は軽装を認めるとともに、「チャレンジ25」夏季活動推進委員会を設置し、上記施策の他、昼休みの消灯を徹底するなど節電の推進を強化しました。
- v) 環境省の「昼も夜もライトダウン2011」に全社を挙げて参加し、電力の削減に努めました。

2. 家庭での節電の取組

- i) 環境省、経済産業省とも連携しながら、家庭での節電のための情報提供、家庭向け節電サイトの紹介と登録推奨などを行い、社員それぞれが家庭での節電を推進するよう啓発に努めました。
- ii) ライオングループ従業員を対象として、毎年実施している環境への取組に関する提案制度「エコライオン提案キャンペーン」の一環として、家庭での節電のアイデア募集コンテストも併せて実施しました。

今冬、来夏の電力の削減についても、生活必需品の安定供給を図りながら、積極的に取り組んでまいります。また当社グループでは、節水・節電につながる商品を提供することにより、引き続きご家庭での使用電力削減に向けた取組を積極的に支援してまいります。



2011年夏の節電についてのエコ・ファーストの約束フォローアップ

平成23年11月1日

INAX 住設・建材カンパニー

2011年5月18日付環境大臣に約束した「2011年夏の節電の約束の実施状況」は以下のとおりです。

1. 約束達成状況

東京電力管内の使用電力削減対象事業所(筑波工場)の達成状況を報告します。

前年最大電力	約束数値	月間最大電力(30分単位値)		
		日時	最大電力	削減率
660kW	561kW (15%)	7月5日 15:30 ~ 16:00	273kW	58.6%
		8月16日 15:00 ~ 15:30	314kW	52.4%
		9月2日 18:00 ~ 18:30	268kW	59.4%

2. 個別の取組状況 (:効果の大きかった取組、 比較的实施が容易だった取組)

- 使用電力削減対象事業所(筑波工場)の取組
輪番操業 看板等照明点等減 ・LED照明付替えなどの推進
- オフィスの取組
グループ全事業所のオフィスで照明50%カットを実施
本社ビル(霞が関ビル/3フロア)では、照明使用量電力が間引き前17,368kWh/月に対し、間引き後8,976kWh/月(6~8月平均)と、48.3%削減
各部屋に温度計を設置し空調ゾーンの最高室温を28℃設定とし、クール・ビズを例年より前倒しで実施
・ノートパソコン・携帯電話などのプラグを、業務に支障が出ない範囲でコンセントから抜いた
- 全社員対象の啓発運動「私たちのエコ・アクション」を実施。事業所単位・社員一人ひとり・家庭で効果的に取組むための情報を提供
- 住宅における省エネの取組や省エネ型製品の提言・喚起を行う「スマイル・エコキャンペーン」を営業部門で実施



エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

平成 23 年 10 月 31 日

積水ハウス株式会社

積水ハウス株式会社と積水ハウスグループ各社が、エコ・ファースト企業として、5月18日に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下の通りです。

1. 目標達成状況

《工場部門》・・・ピーク電力のカットに向けた取り組み

	2010年最大 電力消費	2011年 目標	2011年最大 電力消費(日)	ピークカット 率	15% 削減目標
東北工場	1,747kW	1,485kW	1,260kW (8月18日)	28%	目標達成
関東工場	5,181kW	4,404kW	4,098kW (8月31日)	21%	目標達成

※ピーク電力のカットに向けて取り組んだ工場内輪番操業については、政府による電力使用制限令の前倒し解除を受け、東北工場で9月6日まで(解除は9月2日)、関東工場で9月9日まで実施し、約束の最大電力消費15%削減を達成しました。但し、土日も含めた電力消費合計は増えてしまい、CO2排出量や経済的負担を増大させることから、当該日以降は通常操業に戻しました。それでも、9月30日までの最大電力消費は、東北工場で12%(1,540kW・9月21日)、関東工場で6%(4,860kW・9月12日)前年比減であり、この期間も節電に貢献しています。

《事務所・展示場部門》・・・ピーク電力を把握していないため、電力消費合計での15%削減を目指しました。

	2010年7~9月 電力消費合計	2011年 目標	2011年7~9月 電力消費合計	削減率	15% 削減目標
東北電力 管内	102万kWh	87万kWh	75万kWh	26%	目標達成
東京電力 管内	706万kWh	600万kWh	485万kWh	31%	目標達成
全国	1,544万kWh	1,312万kWh	1,153万kWh	25%	目標達成

上記の通り、お約束いたしました「15%削減目標」を全て達成することができました。

2. 個別の取り組みの評価

(1) 効果が大きかった取り組み ⇒⇒ 《工場部門》工場内輪番操業 《全部門共通》冷房温度28℃設定、減灯・消灯・OA機器の集約、待機電力機器の利用停止

(2) 比較的实施が容易であった取り組み ⇒⇒ 《全部門共通》冷房温度28℃設定、減灯・消灯・OA機器の集約、待機電力機器の利用停止・・・節電意識の高まりにより、積極的に全員が取り組んでいます。

(3) 今後に向けた今夏の取り組みの評価 ⇒⇒ 全部門で取り組んだ事務所での省エネには、無理のない範囲で、今後も継続してまいります。ただし、工場内輪番操業は取引先企業も含めて大きな負担を強いることとなるため、できるだけ回避したいものです。また、「快適性」「経済性」「環境配慮」と節電を同時に実現する環境配慮型住宅「グリーンファースト」は、お客様に浸透したことにより、当社受注に占める割合は目標の75%を上回り、8割に届く勢いです。当社は「グリーンファースト」の積極的な販売に引き続き注力してまいります。

以上



2011年夏の節電についての エコ・ファーストの約束フォローアップ

平成 23 年 10 月 31 日

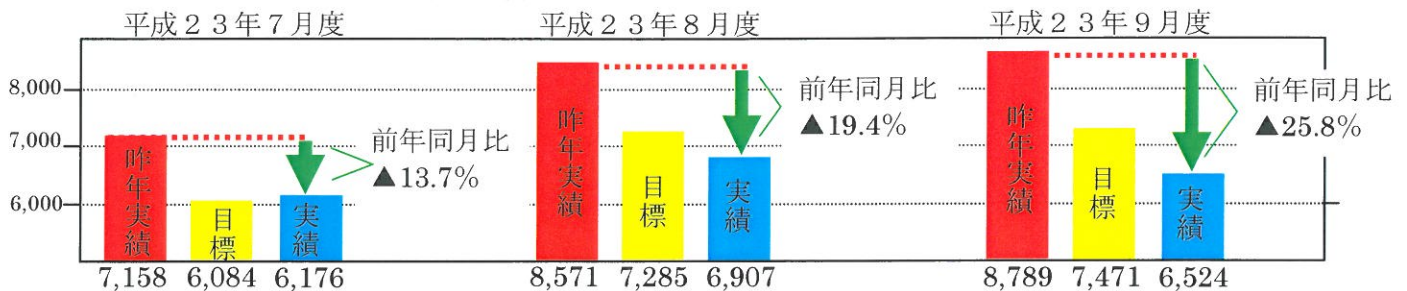
三洋商事株式会社

5月18日付で環境大臣にお約束させて頂いた「2011年の夏の節電の約束」の実施状況について報告させていただきます。

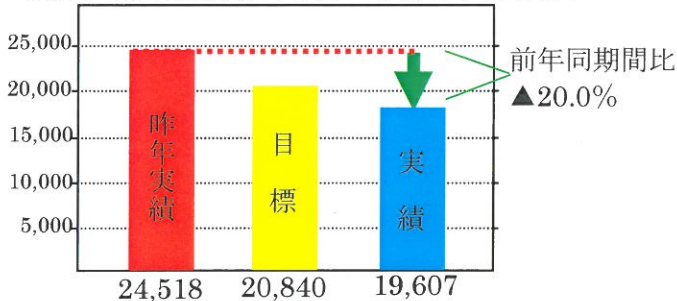
1. 目標達成状況

(単位：kwh)

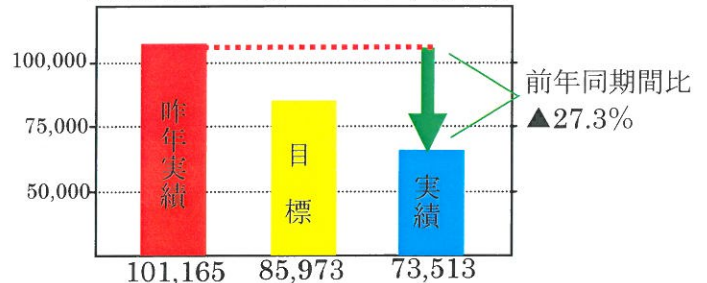
<東京・東北電力管内月別節電実績>



<東京・東北電力管内7月～9月3ヶ月合計>



<会社全体の7月～9月3ヶ月合計>



取り組み開始の7月は、高効率機器の導入が遅れ目標を若干の未達となってしまいましたが、取組期間3カ月合計では東京・東北電力管内及び会社全体でも目標の前年比▲15%を大きく上回り▲20%以上の節電を実現できました。

2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取組

- ① 同じ電力使用量で照度が2倍の水銀灯を導入し、水銀灯本数を間引きした取組。
- ② 取組実績を全員にフィードバックして、対策について毎月見直しした取組。
- ③ 夜間電力消費を削減する為にブレーカーを切る又はタイマーを設置した取組。

(2) 比較的实施が容易であった取組

- ① 未使用時の機器類については徹底してコンセントを抜いた取組。
- ② 使用しなくても問題の無い機器は使用禁止にした取組。(ジェットタオル等)
- ③ 蛍光灯を間引きし電力使用量削減した取組。

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた今夏の取組の評価

- ① 高照度水銀灯については日中時間の短くなる今冬にも大きな効果が出ます。
- ② 帰社時のブレーカーを切る、自動タイマーのセットは毎日実施継続致します。
- ③ 蛍光灯のLED化については今回間に合わなかったが今冬には対応可能です。



SANYO SYOJI CO., LTD.
METALS RECYCLE SYSTEM

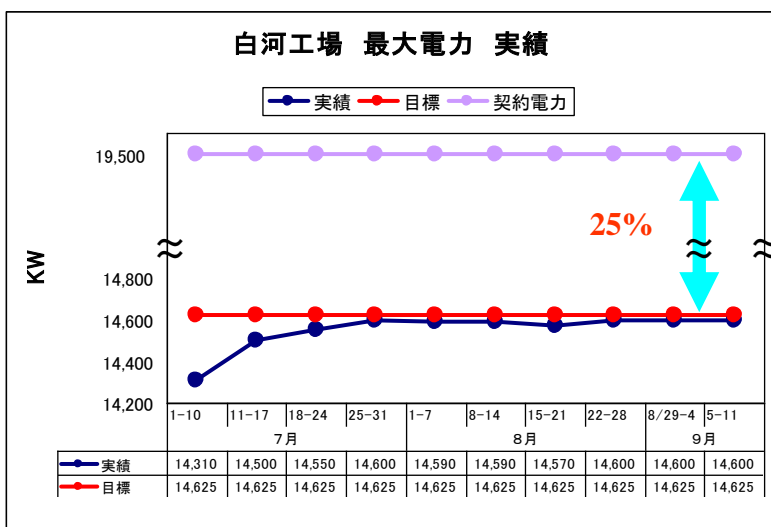


エコ・ファースト

2011 年夏の節電の約束フォローアップ



白河工場（福島県）



個別の取り組み

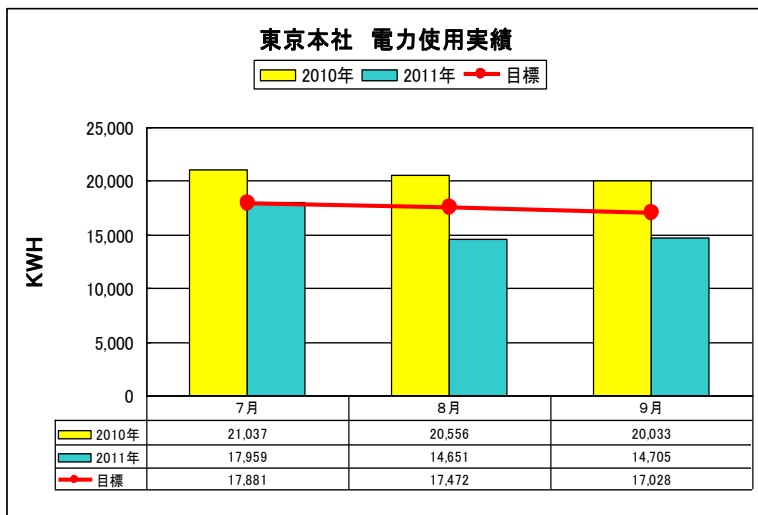
- 1) 効果が大きかった取り組み
 - ・ 停止中だった自家発電装置の稼働
- 2) 比較的容易であった取り組み
 - ・ 空調温度設定変更
- 3) 今後に向けた今夏の取り組み評価
 - ・ 自家発電は来期要請あれば運転
 - ・ 省エネ活動は継続

目標達成状況

目標 最大電力 19,500KW の 25% カット **14,625KW**

実績 最大電力 **14,600KW**

東京本社



個別の取り組み

- 1) 効果が大きかった取り組み
 - ・ 照明 LED 化
 - ・ 消灯徹底（照明間引き）
- 2) 比較的容易であった取り組み
 - ・ 休憩時の消灯
- 3) 今後に向けた今夏の取り組み
 - ・ 節電効果あったので要請の有無に関わらず継続

目標達成状況

目標 電力量 昨年比 **15% 削減**

実績 7-9月平均 **23% 削減**

エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束フォローアップ

日本興亜損害保険株式会社

5 月 18 日付環境大臣に約束した 2011 年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

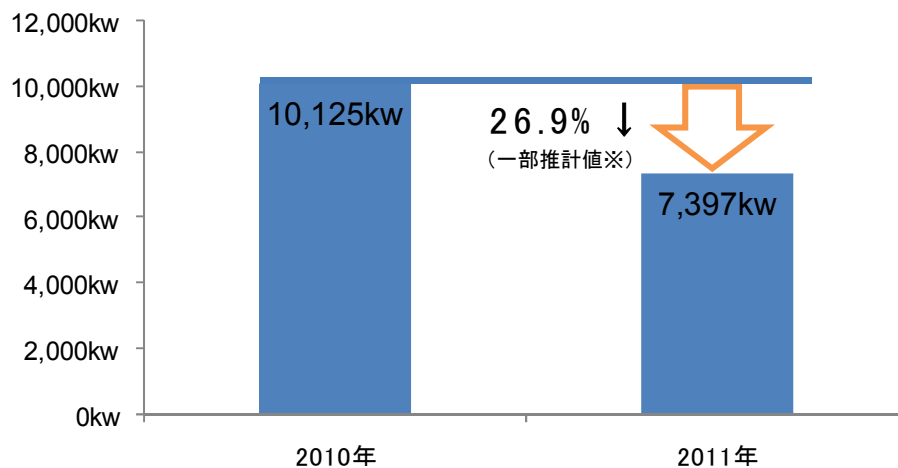
1. 目標達成状況

◆ 目標

関東地方及び東北地方における使用最大電力を 15%削減

◆ 成果

東京電力管内と東北電力管内における使用最大電力の合計は 26.9%減
(一部推計値※)



※各年度の使用最大電力はビルごとの期間中における使用最大電力を積算したもので、500kw未滿の店舗は 7~9 月の検針期間における数値で集計し、テナントとして入居している建物など使用最大電力が不明な店舗は除外した推計値です。

なお、1 時間ごとにデータを実測した 500kw 以上の拠点の合計は 32.7%削減となっており、最大拠点である「ひばりが丘センター」の 2011 年度の使用最大電力は 7 月 11 日、7 月 15 日および 8 月 18 日に記録した 1,188kwh となっています。

2. 個別の取組の評価

- ◆ 大型拠点においては、蓄電池の活用（夜間に蓄えた電力の昼間使用）やフロアの一部閉鎖の取組みの効果が大きかった。
- ◆ すべての拠点において、空調 28℃設定や照明の間引きを徹底した結果、26.9%減を達成した。
- ◆ 代理店や役職員の家庭における節電についても呼び掛けを行った。従業員を対象とした「うちエコ診断」も実施した。

以上



日本興亜損保

NIPPONKOA
INSURANCE

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

平成 23 年 10 月 18 日

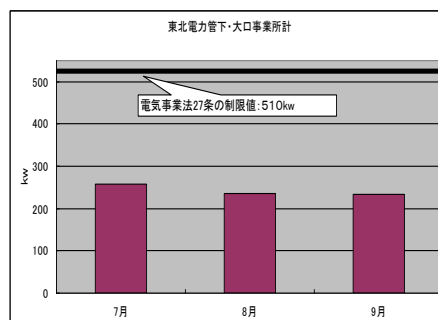
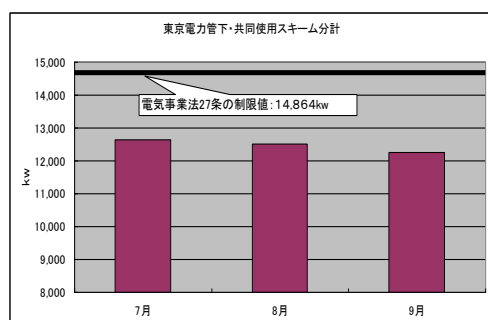
東京海上日動火災保険株式会社

6 月 30 日付環境大臣に約束した 2011 年夏の節電の約束の実施状況は以下の通りです。

1. 目標達成状況

弊社の東京電力・東北電力管内における、本年夏季(7~9月)の使用最大電力は、16,773kw であり、目標値である「昨年度実績(23,316kw 46 拠点(※))対比 15%以上削減」を達成することができました。(※)本店・支店・システムセンター等(自社所有分)

<参考>弊社大口事業所・電力会社管下別使用最大電力量月別推移



2. 個別の取り組みの評価

(1) 効果が大きかった取組

① オフィスにおける節電対策

- ・照明の間引き
- ・エレベーター、エスカレーター運転の間引き
- ・執務室の室内温度 28℃の設定
- ・夏季(一部期間)における研修施設の利用休止
- ・システム機器の統廃合、サーバー機器(一部)の縮小運転

② 社員の働き方の見直し

- ・主要拠点(同上)を中心とした、「昼休みのシフト制」の導入(11-14時)(推奨)
- ・主要拠点(丸の内本新館、ラ・メール三番町、東銀座ビル)を中心に、在勤者による「在宅勤務」の積極活用(推奨)

(2) 比較的实施が容易であった取組

① オフィスにおける節電対策

- ・OA機器(PC、プリンタ、コピー機等)の使用抑制
- ・執務室の室内温度 28℃の設定

② 社員の働き方の見直し

- ・「特別連続休暇制度/ボランティア休暇制度」取得の推進
- ・「ビジネスカジュアル・エブリデー」の導入(通年)

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた今夏の取組の評価

- ・今夏の上記取組を通じ、社員の「節電」に対する意識・取組は大幅に進み、定着に向け、大きな効果があったものと評価している。
- ・今冬の電力需給状況をにらみ、弊社では10月以降も節電対策を夏季に準じた(緩和した)形で継続し、照明の間引き、室内温度設定適正化等を引き続き実施することで、意識の定着を図っていく。

以上

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

株式会社 電通

5月18日付環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

最大電力(kW)の削減は、15%の目標を上回り、7月36%、8月44%、9月48%を達成。

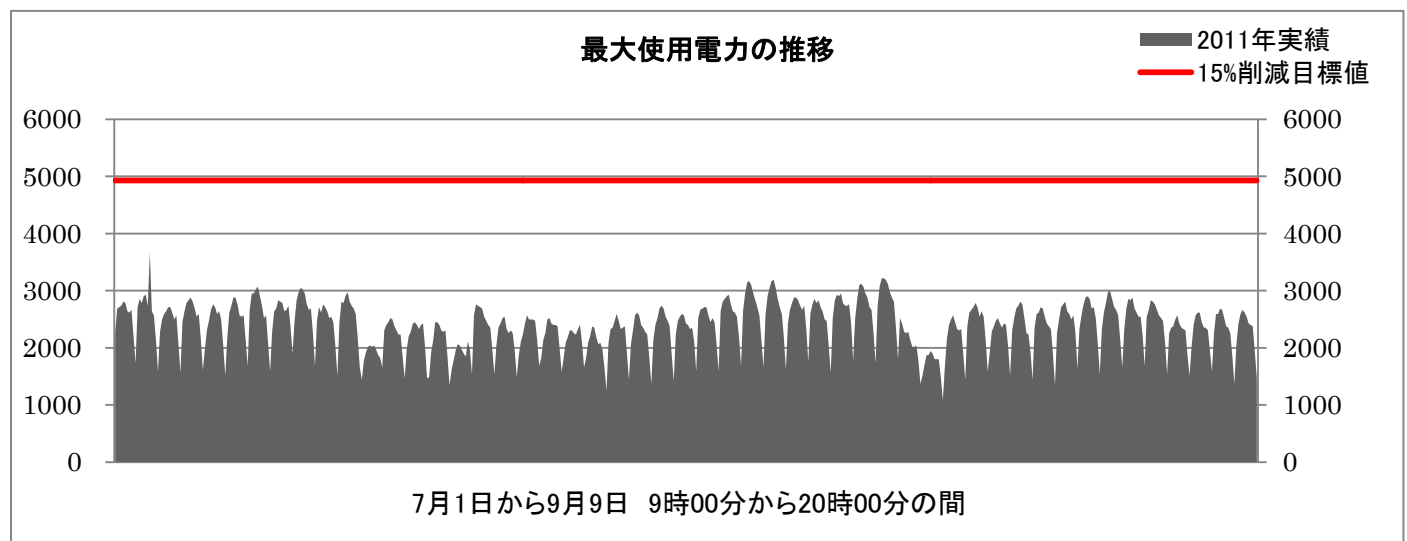
1日当たりの最大電力量(kWh)の削減は、15%の目標を上回り、7月35%、8月33%、9月37%を達成。

◇目標設定◇

期 間:平成23年7月1日から平成23年9月9日まで(但し、土曜、日曜、祝日を除く)

時 間:午前9時00分から午後8時00分まで

目標値:電力4,896kW(昨年最大値5,760kWを15%削減)、電力量75,922kWh(昨年最大値89,320kWhを15%削減)



最大電力(kW)目標値	7月最大:7/4(月)15時	8月最大:8/18(木)11時	9月最大:9/1(木)13時
4,930kW	3,664kW	3,216kW	3,000kW
	36%削減	44%削減	48%削減
1日電力量(kWh)目標値	7月最大:7/13(水)	8月最大:8/19(金)	9月最大:9/1(木)
75,922kWh	57,810kWh	59,740kWh	56,060kWh
	35%削減	33%削減	37%削減

2. 個別の取組の評価

① 効果が大きかった取組

電通本社ビル設置のコージェネレーションシステムの最大活用

② 比較的实施が容易であった取組

中央制御による一般執務室の一斉消灯の拡大実施

③ 今後(今冬、来夏等)に向けて

今後も企業努力として「今夏の対策」を継続いたします。特に館内エレベータの使用が課題となります。全体の約5分の3を制限したことにより、就業者の移動時間に大きく影響を与えたため、今夏の実績に基づきオフィス環境を考慮したストレスレスの対策を計画します。

以上

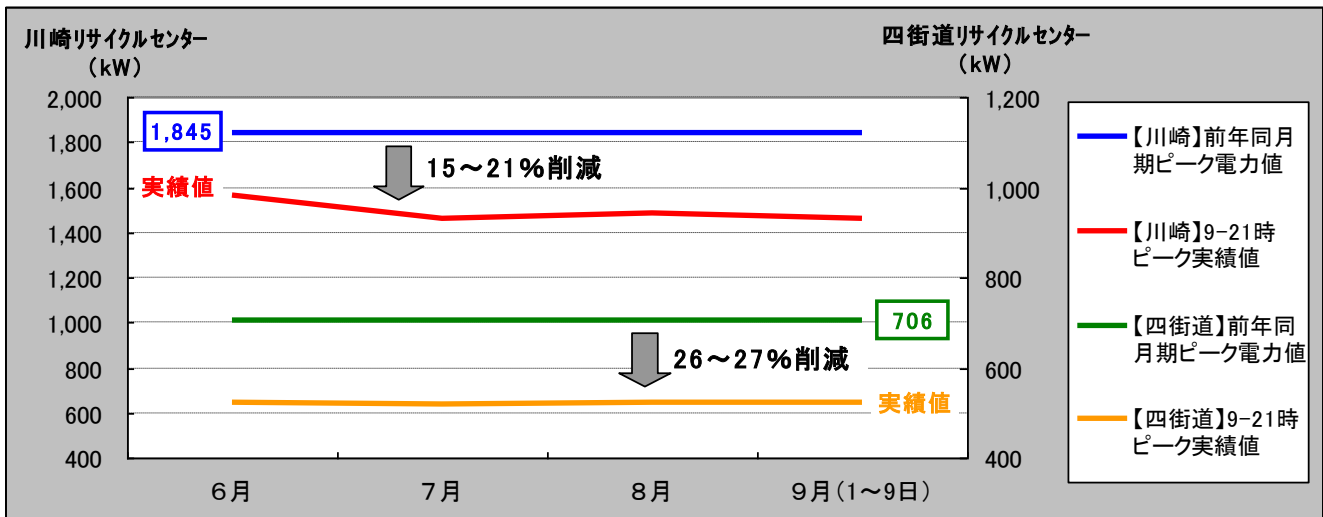


エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束 フォローアップ

5 月 18 日付環境大臣に約束した 2011 年夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. ピーク電力抑制の目標達成状況

■事業所（工場等）での対策



2. 個別の取組の評価

■事業所（工場等）・本社、営業所等での対策

	取組事項	内容	今後
効果が大きかった取組	事業所(工場)の稼働調整	プラント別に稼働時間を変更。	継続予定
	空調の使用抑制	28℃設定、扇風機利用、使用制限・稼働停止。	継続予定
	照明の使用抑制	巡回による不要箇所の消灯。	継続予定
		未使用エリア（通路・窓際）の消灯。	継続予定
		ブラインドの開閉による採光・遮光。	継続予定
		蛍光灯間引き等により、使用を控える。 (本社執務エリア：4割程度間引き)	継続予定
	①昼休みの1時間、②19時以降の完全消灯。	②今限り	
比較的实施が容易であった取組	複写機集約、省電力設定	・数量削減。 ・一定時間未使用で省電力機能が作動。	継続
	自動販売機の撤去	3割程度撤去。(工場部門)。	継続
	熱遮断フィルムの貼付け、日よけ設置	・室内温度上昇の抑制(空調使用抑制)。 ・事務所周縁に設置。	継続
	パソコンの設定、離席時の電源OFF、スタンバイの徹底	・パソコンの輝度調整(推奨40)。 ・省電力モード設定。	継続
	サーバールームでの稼働抑制	一部サーバーの稼働時間制限。	継続
	サマータイムの導入	執務時間を1時間前倒し。6月～9月実施。	継続を検討



損保ジャパン

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

株式会社 損害保険ジャパン

5月18日付環境大臣に約束した2011年夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

東京電力管内及び東北電力管内において計画どおり節電策を実行した結果、以下の結果となりました。(テナントビルについては両管内とも実績が把握できないものの、自己所有施設と同様の節電行動を実施したことから、目標値として設定した15%削減を十分に達成できたものと推定されます。)

	使用最大電力実績 (kw)	目標削減率(%)	結果削減率(%)
東京電力管内	15,328	15	19.8
東北電力管内	922	15	36.7

2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取組

各ビル共通で行った①空調温度の28℃設定、②蛍光管の40%間引き、③エレベーター運転台数削減、④早帰りの取組結果です。さらに東京電力管内では、一部の研修所(山梨・湯河原)の期間中閉鎖によって消費電力を保安電力のみに抑えることができました。

(2) 比較的实施が容易であった取組

各職場で任命した約484名の節電キーパーが中心となって実施したOA機器の省エネモード設定、不使用時電源オフ徹底などは職場の意識向上に大変効果的であり、比較的容易に取り組むことができました。

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた今夏の取組の評価

全社的に節電に取り組むことで、目標の15%以上の削減を達成しました。また今回試行的に在宅勤務を導入しました。社員アンケートからも一定の生産性向上が図れたとの声が多く寄せられており、節電だけでなく、働き方や仕事のあり方の見直しや中長期的な業務プロセスの見直しにもつながるなどといった効果もありました。

今後も持続可能な範囲で、前向きに節電活動に取り組めます。

以上



エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束 フォローアップ

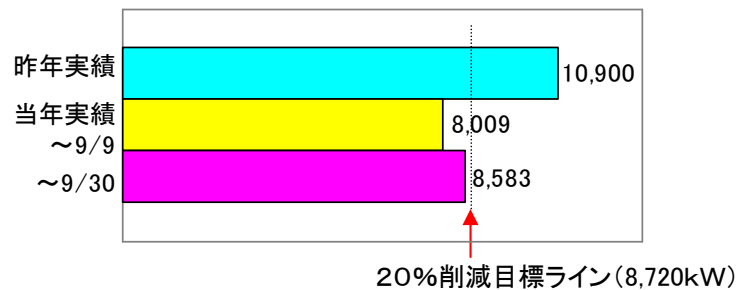
平成23年10月31日
株式会社 資生堂

5月18日付環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

最大使用電力20%以上削減(8,720kW)に取り組んだ結果、9月9日までの実績は目標を27%下回る8,009kW、9月末まででは目標を21%下回る8,583kWの実績で終了し、いずれも目標を達成しました。

【節電目標と実績】(関東地方・東北地方の大口事業所合計)



2. 個別の取り組みの評価

- (1) 特に効果が大きかった取り組みは、工場の稼働時間の早朝・夜間へのシフト、土日祝日への振替です。しかしこの取り組みは、工場の従業員に負担を与えるものであったため、9月9日の電気使用制限緩和に伴い終了いたしました。
- (2) また、コンピュータセンターでは、非常用自家発電機を稼働させ、ピーク電力の削減に努めましたが、燃料コストの負担増に加え、CO2排出量の増加につながりました。
- (3) 比較的实施が容易であった取り組みは、照明の間引き・消灯です。部分的に蛍光灯を抜くとともに、外が明るい時間の消灯を呼びかけることによって、コストをかけずに節電することができました。
- (4) 今夏は、非常事態であるという認識のもと、全社一丸となって節電に取り組み、生産力を維持しながら節電目標を達成することができました。
今回の取り組みの中で、コスト削減や働き方見直しにつながる一部の活動については、10月以降も継続することとしています。
具体的には、照明の間引き・消灯の継続やOA機器の待機電力カット(未使用時のコンセント抜き)などは、引き続き奨励してまいります。
また、オフィス消灯時間を20時に繰り上げるとともに朝型生活へのシフトを推奨する「モーニングビズ」は、2012年3月まで継続します。

1. 約束内容の概要

ノーリツグループは、関東地方及び東北地方における2010年度7月～9月の最大電力(ピーク)に対して、本年7月～9月の最大電力(ピーク)を15%以上削減すべく、以下の取組を進め、節電に努めます。また、昨年夏の最大の1日当たりの電力量に対しても、今年の最大の1日当たりの電力量が15%以上削減されるよう努めます。
上記、対象事業所だけではなく、全社的にも節電の取組みを推進していきます。

2. 目標達成状況

表1. 最大使用電力(ピーク)(kW) (目標:85%以下)

No.	事業所	最大使用電力(ピーク)(kW)									
		目標値	7月		8月		9月				
1	工場(東北・東京電力管内)	2,032	○	82.5%	1,972	○	82.5%	1,973	○	76.6%	1,861
2	工場(全国)	10,710	○	84.8%	10,680	×	85.9%	10,828	○	84.0%	10,579

表2. 最大電力使用量(kWh/日) (目標:85%以下)

No.	事業所	最大電力消費量(kWh/日)									
		目標値	7月		8月		9月				
1	工場(東北・東京電力管内)	26,667	○	73.3%	22,985	○	76.6%	24,022	○	63.4%	19,902
2	工場(全国)	138,483	○	80.7%	86,417	○	84.5%	90,500	○	81.1%	86,850

表3. 電力消費量(kWh/月) (目標:85%以下)

No.	事業所	電力消費量(kWh/月)									
		目標値	7月		8月		9月				
3	事務所(東北・東京電力管内)	144,296	○	70.0%	100,824	○	71.4%	102,799	○	72.3%	104,357
4	事務所(全国)	336,938	○	73.3%	246,989	○	73.3%	246,831	○	71.8%	241,964

1. 東北電力・東京電力管内の生産系事業所・事務系事業所は、最大使用電力(ピーク)(kW)及び最大電力消費量(kWh/日)ともに15%以上削減を達成した。
2. 8月において東北電力・東京電力管内ではない生産系事業所のひとつが最大使用電力(ピーク)において目標値を達成できず、85.9%になった。理由は気温上昇による空調運転、増産によるもの。
3. 東京電力管内の生産系事業所の2拠点において、太陽光発電200kW、50kWを急遽設置した。関西の生産系事業所でも75kW削減になるガスコージェネを設置した。
4. グループ全体での方策及び進捗状況確認のための環境会議を4回、社内説明会を4回、ワーキングを7回、節電パトロール2回開催した。

3. 今後の取り組み

1. 「夏の節電」においては、節電及びCO2削減(省エネ)で大きな成果があった。
10月以降も運用面においてはほとんどの節電項目を継続している。
2. エネルギーの「見える化」が遅れている事業所もあり、今後「見える化」を順次進めていくと同時にグループ全体でエネルギーを収集・分析できる環境ITシステムを導入する。
3. 「冬の節電」として、関西電力・関西広域連合・政府ともに関西においては最大使用電力(ピーク)10%削減の要請を実施する予定。ノーリツグループとしては、10%以上削減を目標として全事業所で取り組む。(生産系事業所の多くは関西にある。)
4. 今回の夏の節電は緊急であり、計画が不十分なところもあった。今後は、設備投資・運用面の計画を重視したエネルギー



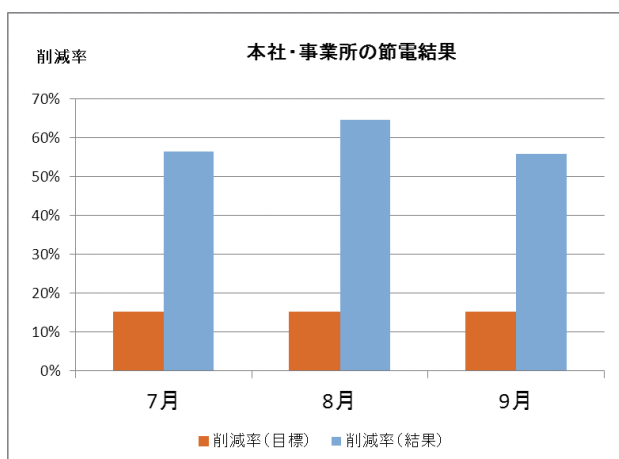
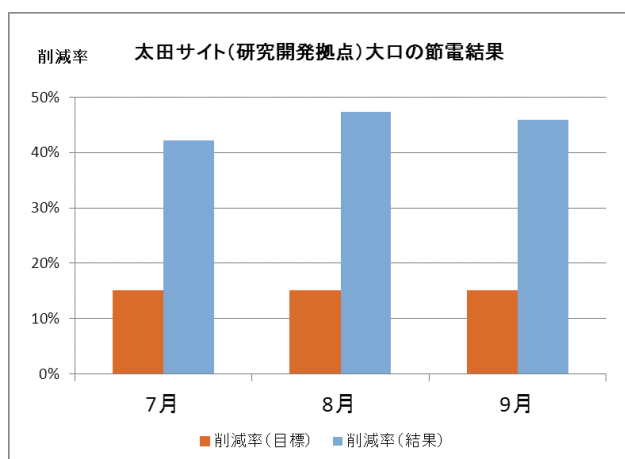
平成 23 年 10 月 18 日

2011年夏の節電についてのエコ・ファーストの約束

日本ミシュランタイヤ株式会社

5月18日付環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況



- 大口需要家である太田サイト(研究開発拠点)において、最大電力値の削減目標15%に対し、7月～9月すべての月で大幅に目標を達成した。(7月:42%, 8月:47%, 9月:46%)
- 本社・事務所において、毎月の電力量の削減目標15%に対し、全ての月で大幅に目標を達成した。(7月:55%, 8月:64%, 9月:54%)

2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取組

【大口】

- ・ユーティリティー設備の見直しおよび効率的な設備の導入
- ・8月の3日間の臨時休業、テスト計画の変更、長時間テストマシンの停止

【本社・事務所】

- ・エアコンの28℃設定の徹底と自動停止機能の活用、照明の間引き(約60%)、個人用LEDスタンドを設置し昼間の照明使用の抑制

(2) 比較的实施が容易であった取組

クールビズの推奨・本社ビル共用部照明の間引き

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた今夏の取組の評価

今夏の取組により、社員に節電意識が芽生えた。また、結果を共有したことでより一層の意識向上につながった。これを受けて、照明の間引きについては、現在も継続して行っている。また、今回の取組には継続可能なものがあるので、今冬、来夏に対し、少なくとも2010年比でマイナス15%の節電は対応できる。





2011年夏の節電についての エコ・ファーストの約束 フォローアップ

平成 23 年 10 月 31 日

日本航空株式会社

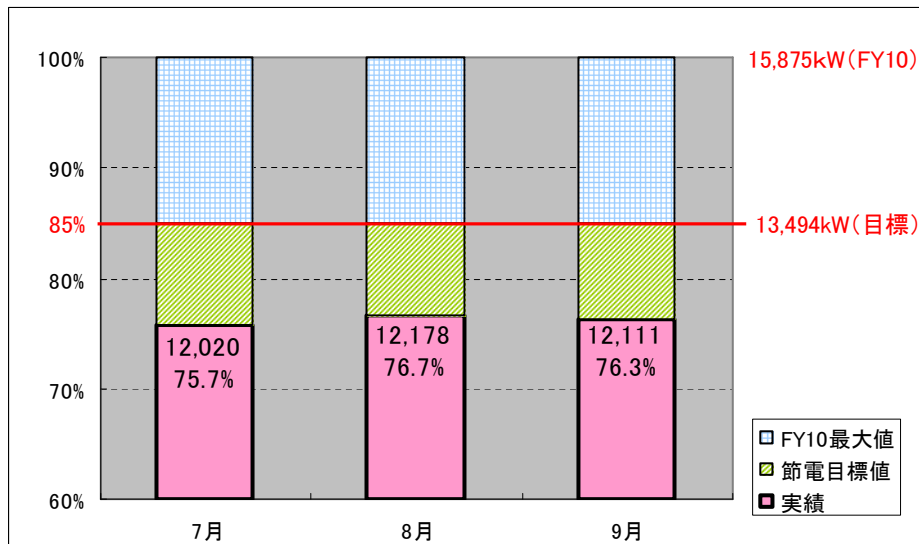
5月18日付で環境大臣にお約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況を、以下のとおりご報告します。

1. 目標達成状況

目標：関東地方および東北地方のグループ施設における2010年夏期の最大電力15,875kWのところ、本年7月から9月の電力を15%削減

各対象事業所の最大使用電力一時間値の合計において、各月とも節電目標を達成しました。

対象事業所	FY10 最大値	目標値	7月最大値	8月最大値	9月最大値
JAL メンテナンスビル1	1,888	1,605	1,461 (7/4)	1,316 (8/8)	1,470 (9/2)
JAL 成田特高変電所	7,500	6,375	5,496 (7/13)	5,376 (8/8)	5,832 (9/1)
JAL 羽田特高変電所	3,430	2,916	2,456 (7/14)	2,800 (8/8)	2,664 (9/1)
JAL 羽田整備ビル	1,632	1,387	1,362 (7/20)	1,368 (8/24)	810 (9/9)
JAL メンテナンスビル2	513	436	515 (7/19)	524 (8/31)	533 (9/1)
JAL ロイヤルケータリング	912	775	730 (7/5)	794 (8/12)	802 (9/9)
合計	15,875	13,494	12,020	12,178	12,111



2. 個別の取り組みの評価

- (1) 航空機整備を実施する事業場（成田・羽田整備工場）において、電力消費の大きい機器の使用を伴う整備作業について、実施時間帯を計画的に広げ、各工場間で連絡を取り合いながら電力使用の分散化を図る取り組みが、最も効果的でした。
- (2) 航空輸送事業の特性を活かし、夏休み期間の旅行需要喚起により社会全体の節電に貢献した他、お客さまとともに取り組むシェード活動や機内誌などを通じて、節電への協力を呼びかけました。

以上

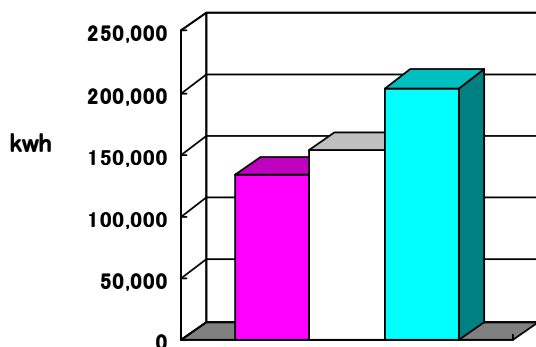
<結果報告>エコ・ファースト「夏の節電対策」

株式会社川島織物セルコン

■エコファースト夏の節電約束 7月～9月累計 前期比-25%目標に対し、-35%で達成

(kwh)	今期実績値	目標値	前期実績値
7月	47,216 (-25.5%)	47,519 (-25.0%)	63,358
8月	41,103 (-38.6%)	50,192 (-25.0%)	66,922
9月	45,375 (-38.8%)	55,581 (-25.0%)	74,108
7月～9月累計	133,694 (-34.6%)	153,291 (-25.0%)	204,388

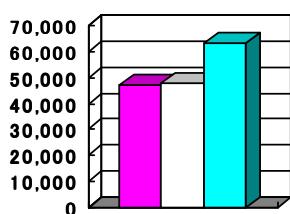
7月～9月累計



■ 実績値 (7/1～9/30)
□ 目標値 (7/1～9/30)
■ 同時期前年実績値

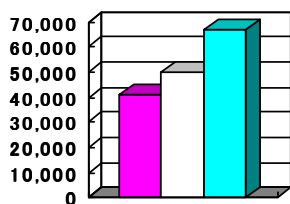
コメント
7月度に達成が厳しい時期が合ったが、追加対策を実施。実施後、8月-9月と大幅な削減を達成。

7月



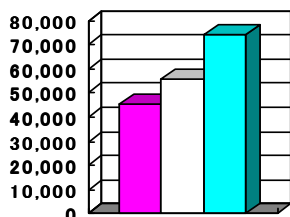
■ 実績値 (7/1～7/31)
□ 目標値 (7/1～7/31)
■ 同時期前年実績値

8月



■ 実績値 (8/1～8/31)
□ 目標値 (8/1～8/31)
■ 同時期前年実績値

9月



■ 実績値 (9/1～9/30)
□ 目標値 (9/1～9/30)
■ 同時期前年実績値

- 7月迄に、実施した対策
 - ・空調設定温度28℃遵守
 - ・遵守のために
 - ・遮熱カーテン設置
 - ・扇風機の導入
 - ・クールビズ服装の徹底
 - ・空調 執務エリア18：00以降 2時間ごとに一齐停止
 - ・空調 ショールーム20：00以降停止
 - ・執務エリア照明の大幅間引き（50%以上）
 - ・ショールーム照明を部分LED化
 - ・パソコンの昼休みOFF、輝度ダウン
- 7月中旬からの追加対策
 - ・空調設定温度28℃の遵守再徹底
 - ・チェック管理者設置
 - ・月～土曜日 執務エリア18：00以降1時間ごと一齐停止
 - ・20：00以降空調停止（翌朝まで操作禁止）
 - ・日曜日 執務エリア終日空調停止
 - ・ショールームと執務エリアの、更なる照明間引き
 - ・昼休み、パソコン停止遵守の見回り
 - ・水曜日一齐消灯（ノー残業デー）18：45
- 8-9月
 - ・7月中旬に打った追加対策により、大幅な削減を継続。



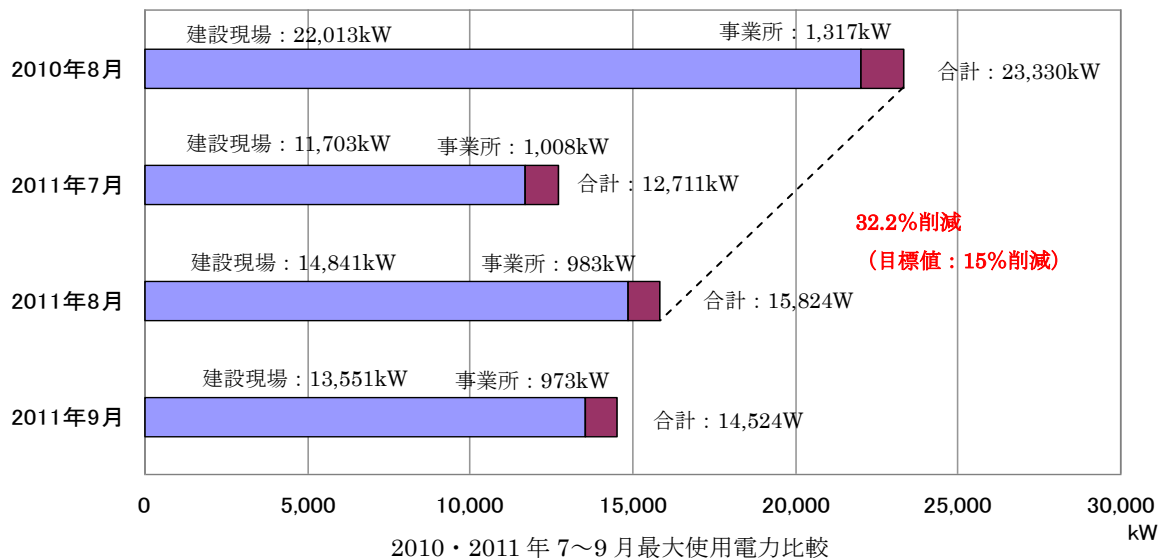
エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束フォローアップ

戸田建設株式会社

5 月 18 日付環境大臣に約束した 2011 年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

7～9 月の最大使用電力は 2010 年 23,330kW に対し、2011 年は 15,824kW となり、削減率は 32.2%となっております。



2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取り組み

- ① 工事用仮設照明に LED 仮設照明の導入推進
- ② 電力使用の大きな作業を電力需要ピーク時間外に移行
- ③ 執務スペース・共用部の照度低減 (ランプの間引き)
- ④ 空調設定温度の変更 (26℃→28℃)

(2) 比較的实施が容易であった取り組み

- ① パソコンの省電力設定
- ② 昼食時及びノー残業デーの一斉消灯

(3) 今後に向けた今夏の取り組みの評価

今夏の節電を受けて、全社員の意識は高まったと思われます。節電期間は終了しましたが、現在も業務に支障の無い範囲で節電対策を継続しています。

継続中の主な節電対策

- ① 工事用照明に LED 仮設照明の導入推進
- ② 執務スペース・共用部の照度低減 (ランプの間引き)
- ③ パソコンの省電力設定
- ④ トイレのハンドドライヤーの停止

人がつくる。人でつくる。

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

ニッポンレンタカーサービス株式会社

5月18日付環境大臣に約束した2011年夏の節電の約束の実施状況は以下の通りです。

1. 営業店舗の節電(対象管内349営業店舗) 以下の項目の実施により15%の使用電力削減を実現します。
 - ① 営業所看板の省エネ化を推進すると共に、ピーク時間帯である19時を中心とした時間帯の看板照明点灯を60%以下とし使用電力を14%削減します。
 - ② ピーク時間帯における高圧洗濯機ならびに掃除機の使用を制限し使用電力を1%削減します。その他、エアコン温度28度の徹底、OA事務機器等の待機電力の削減も合わせて積極的に行います。

実施結果

東京電力・東北電力管内における7月から9月の節電効果は以下の通り。

3ヶ月間の総使用電力は昨年2,477,450kwhのところ、今年度は1,485,375kwhとなり前年比は65%となった。総電力使用料における目標は達成した。

月ごとの前年比は7月度61.3%、8月度57.5%、9月度60.2%。

ピーク時間帯の最大需要の削減については時間帯別実績が掌握不能であるが各営業所の看板照明などの節電実施状況は完全に実施されており、目標の14%削減は充分達成したと判断している。

本社ビルの節電 以下の項目の実施により15%の使用電力削減を実現します。

- ① 昨年10月に完了した省エネ型空調機設置の電力削減効果に加え、設定温度28度、間引き運転の実施、扇風機の活用、会議室利用回数の制限等によりピーク時の空調機使用電力を10%削減します。
- ② 蛍光灯を省エネ型に変更、照明の50%間引き、共有部分照明のLED化、会議室の使用回数の制限等によりピーク時の使用電力を3%削減します。

全熱交換器の稼働制限、エレベーターの稼働制限、OA事務機器の使用制限・待機電力の削減、給茶機・給湯器の稼働制限、電気便座の待機電力の削減等により使用電力を2%削減します。

実施結果

本社ビルにおける7月から9月の節電効果は以下の通り。

3ヶ月間の総使用電力は昨年243,322kwhのところ、今年度は175,514kwhとなり前年比は72.1%となった。総電力使用料における目標は達成した。

月ごとの前年比は7月度69.2%、8月度71.1%、9月度77.6%。

ピーク時間帯の最大需要の削減については月間の最大値を計測しており、月ごとの削減実績は以下の通り。当該日は不明である。

7月度 75.2%(今年度 221kw/前年度 294kw)、8月度 79.6%(今年度 218kw/前年度 274kw)、

9月度 75.2%(今年度 194kw/前年度 244kw)

個別取組の評価

1)効果が大きかった取組 2)比較的実施が容易であった取組

営業店舗の看板照明の使用制限。目標は60%以下としたが殆どの店舗は全消灯の状況であった。

店舗内照明のLED化。都心部の約100店舗の事務所内照明器具をLEDに順次変更。変更は9月までであったがLEDの消費電力削減効果は大きい。

3)今後に向けた取組の評価

特段実施が困難であった取組は見られなかった。店舗は概ね照明器具の消費電力が殆どのため、看板照明の点灯制限や消費電力が少ないLEDへのシフトにより達成ができたと判断。次年度更なる削減を実施する場合には相応の対策が必要と判断する。以上

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

2011年5月18日、環境大臣に約束した「2011年の夏の節電の約束」の実施状況について以下のとおり報告いたします。

1. 目標達成状況

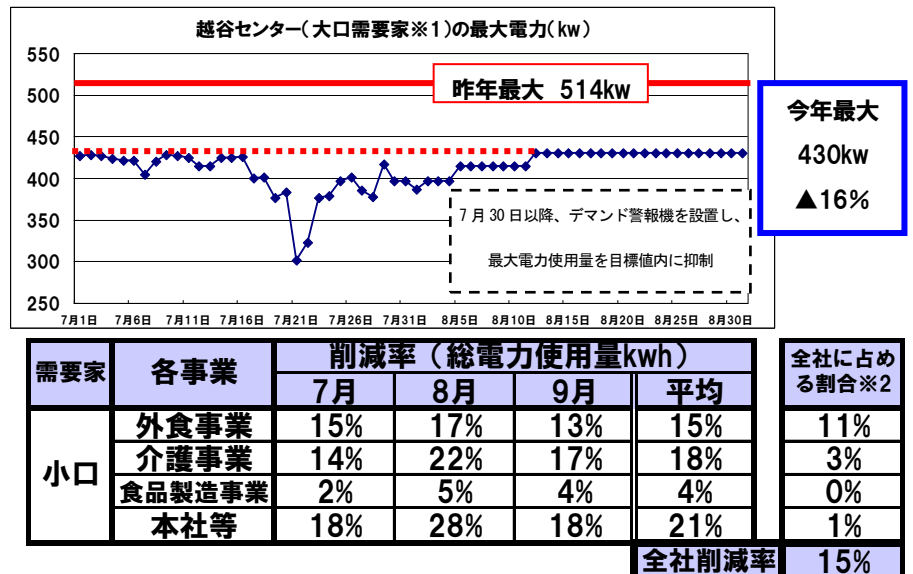
当グループは右図に示す通り、節電の目標を達成しました。

【大口需要家の食品製造事業】

期間中のピーク電力削減を目標とした大口需要家の食品製造事業では16%削減を達成しました。

【小口需要家の各事業】

期間中の総電力量削減を努力目標とした小口需要家の各事業では全事業合計で15%削減を達成しました。



2. 個別の取り組みの評価

(1) 効果が大きかった取り組み

① 夏期のため動力(空調機)削減

- ・ 外食事業: エアコンフィルターのこまめな清掃、厨房給気フィルターの清掃による負圧の防止
- ・ 介護事業: エアコン・全熱交換器フィルターのこまめな清掃

② 非営業時の不使用電気機器の洗い出しと電源 OFF

- ・ 外食事業: ジョッキクーラーの非営業時電源 OFF、宴会用ビンビールショーケースの非営業時電源 OFF
- ・ 本社ビル等: 電気ポット・冷蔵庫類の夜間電源 OFF

(2) 比較的实施が容易であった取り組み

- ・ 本社ビルにおけるキャノピースイッチの導入(本社ビル電灯電力を約20%削減)

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた今夏の取り組みの評価

- ・ 実施可能な取り組み: 今夏の取り組みは全て継続可能(全ての取り組みは一定の効果があったと推定されます)
- ・ 想定と比べて効果のあった取り組み: エアコン・厨房給気フィルターのこまめな清掃
- ・ 今後の課題: エアコンの温度管理はリモコンで設定していますが、表示温度と実際に使用している場所では感じ方に差があります。今後どのように管理するか、課題と考えています。



地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

WATAMI.

エコファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

平成23年11月16日

辻・本郷税理士法人

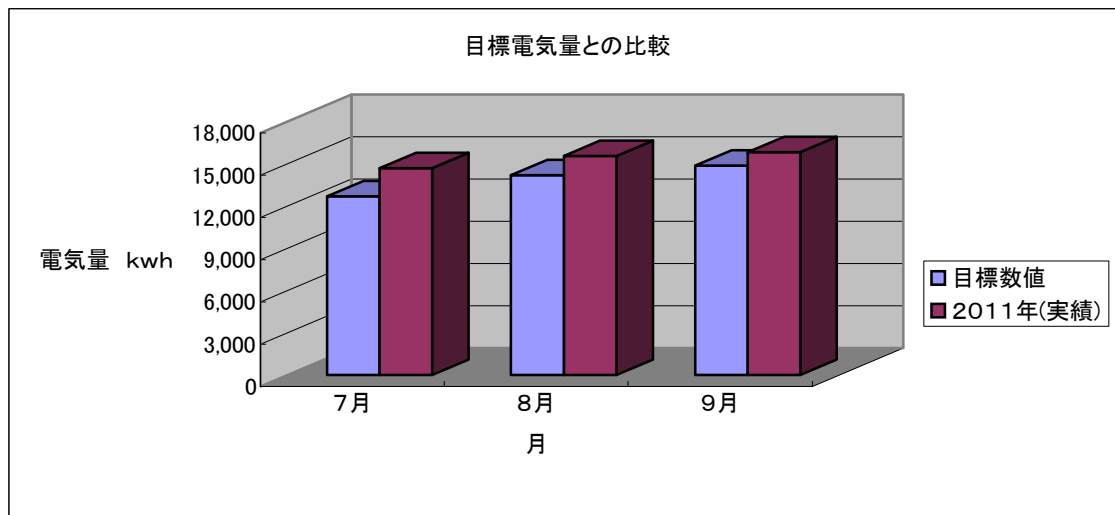
本年度5月18日において、環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下の通り。

具体的目標：電気使用量の15%削減

辻・本郷税理士法人の去年の7～9月の電気使用量の合計が49,108kwhであるため、15%の削減である7,367kwhの削減を目標とする。

(単位:kwh)

	7月	8月	9月	合計
去年の実際数値	14,921	16,684	17,503	49,108
目標数値	12,682	14,181	14,878	41,741
2011年(実績)	14,657	15,536	15,822	46,015



結果：7,367kwhの削減を目標に対して、3,093kwhの削減
→削減率6.3%

達成できなかった理由：

初年度ということもあり、節電のために掲げたオフィス対策の徹底が達成しきれなかった。また、前年度に比べ従業員人数の増加したため、電気量が増加してしまった。今回の反省を活かして今後は他社の取組も参考に、照明等の取組を強化していきたい。

個別の取組についての評価：

- (1)効果が大きかった取組・・・クールビズ、冷房の温度設定を28℃に管理
- (2)実施が容易だった取組・・・クールビズ、冷房の温度設定を28℃に管理
- (3)実施が難しかった取組・・・パソコンを長時間離れるときの電源オフの徹底
こまめにコンセントを抜くことによる電力削減

(3)については、地道な努力が必要であるが継続できれば効果があがるものであるため、今後も引き続き努力を行うべき取組であると認識している。そのためには社内の節電意識の向上、呼びかけを徹底する必要がある。



平成 23 年 10 月 31 日

エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束フォローアップ

富士通株式会社

5 月 18 日付環境大臣に約束した「2011 年の夏の節電の約束」の実施状況は、以下のとおりです。

1. 目標達成状況

東京電力および東北電力管内の対象となる本社および各事業所（大口契約分）における最大電力を、目標 15% 削減に対し 20% から 41% 削減を達成^{*1}。尚、東京電力管内を統合して 8 月 10 日に約 7 万 kw、東北電力管内を統合して 7 月 12 日に約 6 万 kw の最大電力となった^{*2}。

^{*1} 制限緩和対象事業所を除く

^{*2} 東日本大震災及び新潟・福島豪雨の被災地に所在する事業所が含まれているため、9/2 までの最大電力値

2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取組

- 自社事業所やテナントオフィスにおける、空調の制御や停止による温度調整、照明対策（間引き、LED 照明の導入）
- 自家発電設備の活用（沼津工場）
- 蓄熱・代替熱源の利用、太陽光発電の導入
- 自社保有の開発用・業務用サーバの東京・東北電力管外にあるデータセンターへの移設や利用の一時停止
- 勤務体系の変更（夜間シフト等）

(2) 比較的实施が容易であった取組

- クールビズ期間の拡大（5 月～10 月）、さらにスーパークールビズによるオフィスの室温 28℃励行と軽装の徹底（6/15～10/31）
- 給湯器・冷蔵庫などの停止

(3) 今後（今冬、来夏等）に向けた今夏の取組の評価

○ 事業所の対策

- 節電対策委員会を発足し、組織的な対応により目標を達成した。
- 事業所での働き方（共通施策）としてのノウハウ（適正な照度、PC 節電等）を取得した。
- 事業所インフラ設備の運用面からの節電ノウハウを取得した。
- ICT を活用し、電力値のリアルタイム監視と予測（環境経営ダッシュボード）を行い、事業所毎の目標達成を推進すると共に、共同使用制限スキームの目標達成に効果をあげた。
- 計画停電の経験を活用した対応マニュアルを全事業所に共有し、事業継続の観点からのリスク対応能力を強化した。
- 実施した取組のうち、業務効率に影響しない範囲での節電効果のあった取組、具体的には、照明の間引き、PC の省エネモード設定、トイレ・給湯室における節水やクールビズなどの取組は継続する。
- 今後の設備投資については、節電と CO2 削減のバランスを考慮し取り組む。

○ お客様の節電の取組の支援

- お客様へは、PC やサーバの他、電力の見える化によって、気づき・理解・削減と省エネ行動の変化につながるスマートコンセントなど、省電力型の ICT 機器や ICT を活用した節電・省エネに貢献するソリューションやサービスを提供し、お客様の節電・省エネの取組に貢献した。
- 自社対策で効果のあった環境経営ダッシュボードの製品化検討を含む、製品・サービスの提供や、ホームページでの節電・省エネ対策の情報提供を通じて、お客様の節電の取り組みを継続支援して行く。

○ 社員の節電の取組の推進

- 社員へは家庭での節電の取り組みについて、エアコンの 28℃設定、扇風機の使用、日中の消灯などの対策情報の提供により節電行動を促進した。今後も節電アクションの啓発を継続する。





エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束フォローアップ

株式会社一条工務店

5 月 18 日付環境大臣に約束した 2011 年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

(1) 約束の概要

2010 年度 7 月～9 月の最大の 1 日当たりの推定電力量 26,608kWh の 15%削減を行うこと

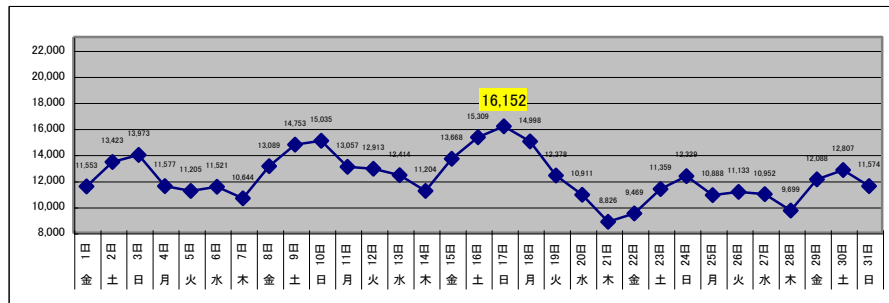
(2) 自己評価結果

① 目標値と実測値

目標値：26,608kWh の 15%削減値である「22,617kWh」

実測値：約束期間中の最大電力使用量となった 7 月 17 日の実測値「16,152kWh」

(下表は、最大使用量を記録した 7 月の電力使用量を日別に示したものです。)



② 評価結果

目標値である「22,617kWh」に対し、最大実測値が「16,152kWh」であったことから、約束の 15%削減を達成すると共に、昨年比「39.3%削減」の成果を残すことができました。

2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取組

① 全国 281 展示場における使用電力量の見える化

社内システムを利用した各展示場の使用電力量を「見える化」し、これを相互確認することの出来る仕組みを用意して節電に取組み、太陽光の新規導入との相乗効果により、昨年比 **43.1%の削減**を達成しました。

② 太陽光発電パネルの設置

栃木ショールーム(設置容量 383.4kW)、西東京ショールーム(設置容量 270.0kW)の総発電量は、昨夏の東京・東北電力管内における事業場の買電量の **10.6%**にあたり、今回の節電の約束達成に寄与するものとなりました。

(2) 比較的实施が容易であった取組

① クールビズの統一と 28℃基準での室温管理の実施

② 事業場へのハニカムシェード等の開口部断熱補強の実施

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた今夏の取組の評価

社員の節電に対する意識は、約束の履行の中で確実に向上しており、今冬も引き続き節電の実施が持続的に行われるものとなります。一方、勤務体制を節電シフトとする点については、顧客サービスを低下させることなく実施する必要があり、この点は次期の課題として残ります。なお、事業場(展示場)への太陽光発電パネルの搭載の推進は継続して実施するものとし、これによる創エネとの相乗効果から、節電の実施が図られていくものとなります。

家は、性能。

一条工務店

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束フォローアップ

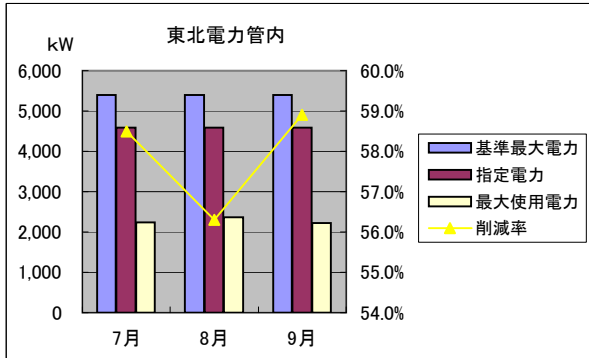
株式会社エフピコ

5月18日付環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下の通りです。

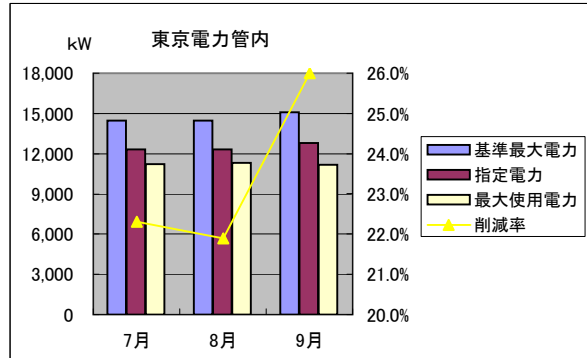
1. 目標達成状況

- (1) 15%節電が求められる大口の対策
 <生産工場、物流センター等>

【東北電力管内】



【東京電力管内】



	7月	8月	9月
基準最大電力	5,400	5,400	5,400
指定電力	4,590	4,590	4,590
最大使用電力	2,240	2,360	2,220
最大電力日時	25日 13:00-14:00	29日 09:00-10:00	9日 15:00-16:00
削減率	58.5%	56.3%	58.9%

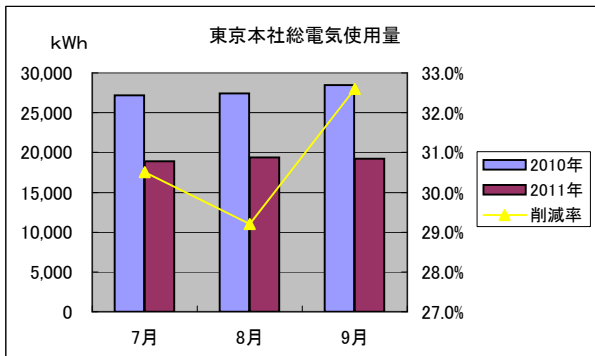
	7月	8月	9月
基準最大電力	14,473	14,473	15,073
指定電力	12,302	12,302	12,812
最大使用電力	11,242	11,302	11,149
最大電力日時	13日 11:00-12:00	10日 11:00-12:00	9日 17:00-18:00
削減率	22.3%	21.9%	26.0%

>最低15%削減目標に対し60%弱の大幅な削減となった。 >最低15%の削減目標に対し25%弱の削減となった。

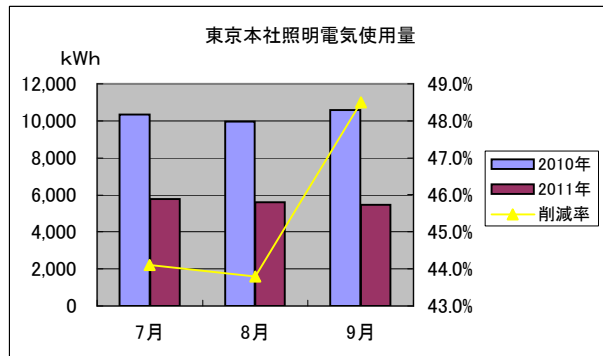
※東北電力管内、東京電力管内共に自家発電稼働によるものである。

<東京本社・営業部>

【総電気使用量】



【総電気使用量に占める照明電気使用量】



	7月	8月	9月
2010年	27,216	27,428	28,498
2011年	18,918	19,417	19,190
削減率	30.5%	29.2%	32.6%

	7月	8月	9月
2010年	10,325	9,945	10,590
2011年	5,769	5,588	5,447
削減率	44.1%	43.8%	48.5%

>15%の削減目標に対し総電気使用量で30%、照明電気使用量で45%強の大幅な削減となった。

(2) 社員の節電取り組みの推進

>定量的把握は出来ていないが、資源エネルギー庁発行の「家庭の節電対策メニュー」をし全社員に対し情報提供を行い各家庭での取り組みを啓発した。

(3) サプライチェーンの節電の取組支援

原料・副資材・協力工場のサプライチェーンとの連携・協働によるSCMの推進

>原料・副資材の前倒し発注で、原料:0.2ヶ月分、副資材:0.5ヶ月分を生産

2. 個別の取組の評価

(1) 効果が大きかった取組

- ・生産工場は自家発電の稼働に大きな効果があった。但し、CO2の排出量は1,441t₂の増加となった。
- ・東京本社は照明の30%の間引き、および空調28℃設定に大きな効果があった。

(2) 比較的实施が容易であった取組

- ・東京本社においては、照明の間引きおよび不使用時消灯の徹底

(3) 今後(今冬、来夏等)に向けた評価

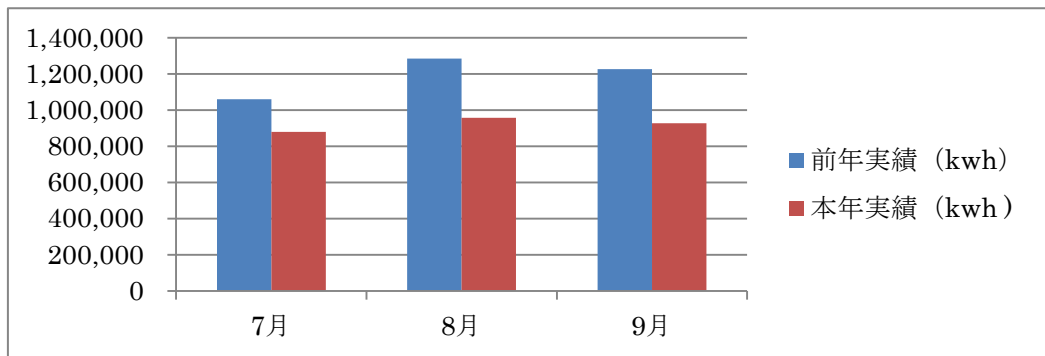
- ・東京本社においては、効果のあった照明の間引き、空調調整は定常的に実施予定

平成 23 年 10 月 31 日

エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束フォローアップ
株式会社スーパーホテル

5 月 18 日付環境大臣に約束した 2011 年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況



	前年実績(kwh)	本年実績(kwh)	削減率
7月	1,059,990	878,743	17.10%
8月	1,285,230	957,908	25.40%
9月	1,226,279	926,645	24.43%
合計	3,571,499	2,763,296	22.43%

2. 個別の取組の評価

- ① 約 7000 万円をかけた棟屋看板の LED 照明への変更や館内のエアコンの使用を最小限にした事が非常に効果が大きかったです。それを実現する為に店舗が真摯に取り組んでくれた事が成果に繋がったと考えております。
- ② 容易にできる取り組みはございませんでしたが、サービス業ですので、電気の使用をほとんどお客様に委ねております。エコ・ファースト企業として啓蒙活動を実施しましたが、結果としてお客様にも積極的に節電にご協力頂いたと考えております。
- ③ 今後もお客様と一緒に、節電以外の環境負荷低減活動も実施していきたいと考えております。今回に震災により人々の価値観が大きく変化しようとしています。宿泊施設としてその変化に対応できる価値を提供し続けていく事が我々の使命と考えております。

スーパーホテル

エコ・ファースト 2011 年夏の節電の約束フォローアップ

平成 23 年 10 月 31 日

株式会社ブリヂストン

6 月 23 日付環境大臣に約束しました 2011 年夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 約束内容

ブリヂストングループは東京電力管内における 12 か所の事業所(大口需要家)において、2010 年度 7 月～9 月の最大使用電力(ピーク時使用電力)76,000kw のところ、本年 7 月～9 月の最大使用電力を前年同期比 15%削減するよう節電に努めます。

2. 目標達成状況

削減目標値	各月最大使用電力
66,094kw	7 月 48,502kw(7 月 12 日)
	8 月 49,083kw(8 月 10 日)
	9 月 48,250kw(9 月 16 日)

今夏の全 12 事業所合計のピーク時使用電力は 49,083kW となり、前年同期比 37%削減しました。

3. 個別の取組の評価

効果が大きかった取組	<ul style="list-style-type: none"> ・消費電力量の「見える化」による集中管理及び機動的な節電施策の実施 ・昼間生産の一部夜間へのシフトや昼休分散 ・夜間電力で逐電した電力の昼間の時間帯での活用 (NAS 電池の活用) ・ディーゼル発電機・エンジンコンプレッサーの導入
比較的实施が容易であった取組	<ul style="list-style-type: none"> ・サマータイム制導入とノー残業デー拡大 ・照明間引き、空調温度、EV、トイレ等の節電活動
今後に向けた今夏の取組の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今夏の取組はほぼ見込み通りの結果となったが、今後は、今夏の取り組みを、恒久策、応急策に切り分け、恒久策については、今後も継続/他地区への拡大を進めていく